



2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月7日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・IR部長 (氏名) 遠山 邦彦 (TEL) 059(226)1193
 定時株主総会開催予定日 2023年5月24日 配当支払開始予定日 2023年5月1日
 有価証券報告書提出予定日 2023年5月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期の連結業績(2023年3月1日~2023年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期	33,897	0.9	935	△26.7	1,227	△9.6	759	△10.9
2022年2月期	33,595	6.3	1,275	24.1	1,357	13.0	852	2.1

(注) 包括利益 2023年2月期 827百万円(△1.3%) 2022年2月期 838百万円(16.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2023年2月期	円 銭 202.20	円 銭 —	% 6.5	% 4.3	% 2.8
2022年2月期	226.92	—	7.8	4.7	3.8

(参考) 持分法投資損益 2023年2月期 一百万円 2022年2月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2023年2月期	百万円 27,505	百万円 12,607	% 43.8	円 銭 3,207.14
2022年2月期	29,094	11,927	39.1	3,030.61

(参考) 自己資本 2023年2月期 12,049百万円 2022年2月期 11,383百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2023年2月期	百万円 1,307	百万円 △477	百万円 △2,366	百万円 6,253
2022年2月期	1,135	△215	64	7,789

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年2月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00	百万円 150	% 17.6	% 1.4
2023年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00	150	19.8	1.3
2024年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		19.6	

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,280	1.8	540	16.0	560	△6.4	380	1.5	101.14
通期	34,620	2.1	1,140	21.9	1,180	△3.9	765	0.7	203.61

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期	4,070,000株	2022年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2023年2月期	312,973株	2022年2月期	313,973株
③ 期中平均株式数	2023年2月期	3,756,643株	2022年2月期	3,756,060株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
4. その他	
(1) 役員の変動	16
(2) その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年3月1日～2023年2月28日)における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染動向に左右されつつも、経済活動の正常化に向けた動きが浸透し、サービスを中心とした個人消費の回復やインバウンドの持ち直しが徐々に見られる状況にありました。一方、海外では、インフレ圧力の長期化に伴う金融引き締め継続から、景気減速懸念が台頭しております。こうしたなか、国内景気回復への影響も懸念される状況にあります。

このような環境のもと、当社グループはコロナ後を見据えた事業環境の変化に臨機応変に対応すべく、必要に応じて感染防止対策にも留意しながら、患者さま、利用者さまの安全確保に注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、2022年3月に孫会社2社を中核子会社である株式会社メディカルー光へ集約し、事業運営の一体化、経営の効率化を促進しました。また、質を重視した新規出店を進めるとともに、既存店舗の改装・強化も図りながら、地域連携薬局や専門医療機関連携薬局の拡大に注力いたしました。

薬局へのご来店が困難な患者さまのニーズに対応していく在宅市場への取り組みについては、子会社(株式会社ヘルシー薬局)を主体に、需要拡大に対応しております。また、既存店舗においてもこうした取り組みは着実に浸透しつつあります。当社グループとしましては、このような活動を通して患者さま一人ひとりの満足度を高め、地域の皆さまに選ばれる薬局づくりを行っております。

ヘルスケア事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更後の環境変化も見据え、介護サービス利用者さまが安心して施設を利用できる体制を整えるべく、介護人材の安定的な確保を優先し、介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高33,897百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益935百万円(前年同期比26.7%減)、経常利益1,227百万円(前年同期比9.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は759百万円(前年同期比10.9%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当連結会計年度上期における既存店の応需処方箋枚数は前年同期比微減となりましたが、下期はやや持ち直し、年度を通しては微増となりました。調剤薬局事業全体の売上高は子会社の店舗を主体に浸透しつつある在宅市場への取り組み効果や、2022年7月に開局したフラワー薬局名張東店等の新規出店売上が寄与し増収を確保しました。しかしながら労務費を主体に費用が増加し、収益面では前年同期比減益を余儀なくされました。

この結果、売上高23,094百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益1,490百万円(前年同期比3.8%減)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの調剤薬局は合計95店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、通所介護事業所および施設において、当連結会計年度を通して、新型コロナウイルス感染症のクラスターが断続的に複数発生いたしました。このため、デイサービスを主体に新規利用者さまのご利用を控えたこともあり稼働率が低下しました。

また、施設スタッフの処遇改善等に伴う労務費増加に加え、施設運営に不可欠な光熱費の高止まりも続き、こうした費用が前期比大幅に増加しました。このような環境下、当社グループとしましては、施設をご利用頂く皆さまが安心して快適に過ごせる介護サービスの実現に努めております。

この結果、売上高7,671百万円(前年同期比1.8%減)、営業損失28百万円(前年同期は営業利益218百万円)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの居住系介護サービスは、合計42施設(居室数1,417室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所22ヶ所、居宅介護支援事業所18ヶ所、小規模多機能ホーム10施設、福祉用具レンタル・販売5拠点、訪問介護事業所9ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の安定供給が課題となる中、2022年3月に当社孫会社を中核子会社に統合し、営業体制の強化と経費抑制に努めてまいりました。しかしながら、薬価改定の影響から収益環境は従来以上に厳しさを増しております。

この結果、売上高2,944百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益57百万円(前年同期比49.6%減)となりました。(内部売上を含む売上高は3,942百万円となり、前年同期比で1.3%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高187百万円(前年同期比19.2%減)、営業利益124百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益35百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として1,000百万円を消去するとともに、全社における共通経費として708百万円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は27,505百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,588百万円減少いたしました。

流動資産の合計は13,239百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,337百万円減少いたしました。これは主に、売掛金が118百万円増加し、現金及び預金が1,549百万円減少したこと等によるものです。

固定資産の合計は14,266百万円となり、前連結会計年度末と比較して250百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が215百万円、敷金及び保証金が141百万円それぞれ増加し、建物及び構築物が319百万円、のれんが239百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は14,897百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,268百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)2,177百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は12,607百万円となり、前連結会計年度末と比較して679百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が609百万円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1,536百万円減少し6,253百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで1,307百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで477百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで2,366百万円減少したことによるものです。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,307百万円(前年同期比172百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,313百万円、減価償却費・のれん償却額841百万円などの増加要因と、法人税等の支払567百万円、売上債権の増加118百万円などの減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、477百万円(前年同期比262百万円の支出増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入306百万円などの増加要因と、投資有価証券の取得による支出407百万円、有形固定資産の取得による支出312百万円、差入保証金の差入による支出234百万円などの減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、2,366百万円(前年同期比2,431百万円の支出増加)となりました。これは主に、長期借入金の純減少2,177百万円、配当金の支払150百万円などによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期
自己資本比率(%)	36.4	38.8	36.7	39.1	43.8
時価ベースの自己資本比率(%)	65.9	62.9	39.6	32.9	35.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	21.6	5.6	6.5	10.0	7.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	8.3	31.6	33.8	19.2	26.1

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されることもあり、経済活動正常化が進展し、国内景気は緩やかな回復が期待される状況にあります。一方、海外経済の減速が景気の重石となる懸念も残り、当面は海外における金融引き締めや金融システムへの不安等が、国内経済に及ぼす影響も留意する必要があるとみられております。

このような環境のもと、当社グループは、コロナ後を見据えた事業環境の変化に柔軟に対応し、患者さま、利用者さまの安全確保に努め、事業展開を図ってまいります。

通期の連結業績は、売上高34,620百万円、営業利益1,140百万円、経常利益1,180百万円、親会社株主に帰属する当期純利益765百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,992,461	6,443,169
売掛金	4,890,612	5,009,077
商品	1,214,011	1,228,229
その他	482,691	561,431
貸倒引当金	△2,288	△2,388
流動資産合計	14,577,486	13,239,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,451,837	12,535,111
減価償却累計額	△6,626,522	△7,028,870
建物及び構築物(純額)	5,825,315	5,506,241
車両運搬具	148,157	133,007
減価償却累計額	△116,672	△112,210
車両運搬具(純額)	31,484	20,796
工具、器具及び備品	1,567,397	1,704,270
減価償却累計額	△1,327,384	△1,433,347
工具、器具及び備品(純額)	240,013	270,923
土地	3,739,216	3,762,342
建設仮勘定	28,476	27,102
有形固定資産合計	9,864,505	9,587,406
無形固定資産		
のれん	1,536,222	1,296,414
その他	177,185	182,529
無形固定資産合計	1,713,408	1,478,943
投資その他の資産		
投資有価証券	1,104,507	1,320,428
繰延税金資産	419,897	363,325
敷金及び保証金	906,042	1,047,449
その他	508,408	468,705
投資その他の資産合計	2,938,856	3,199,908
固定資産合計	14,516,769	14,266,258
資産合計	29,094,256	27,505,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	46,847	45,553
買掛金	3,434,630	3,393,285
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	3,562,395	2,694,980
未払法人税等	279,828	189,206
賞与引当金	226,908	222,824
その他	695,487	738,919
流動負債合計	8,416,097	7,454,768
固定負債		
長期借入金	7,372,883	6,062,910
リース債務	207,131	189,717
退職給付に係る負債	761,406	802,137
その他	408,878	388,400
固定負債合計	8,750,301	7,443,165
負債合計	17,166,398	14,897,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,080,381	1,081,272
利益剰余金	9,948,627	10,557,964
自己株式	△541,555	△539,830
株主資本合計	11,404,452	12,016,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,093	27,858
退職給付に係る調整累計額	△1,295	5,068
その他の包括利益累計額合計	△21,389	32,926
非支配株主持分	544,795	558,509
純資産合計	11,927,858	12,607,842
負債純資産合計	29,094,256	27,505,776

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
売上高	33,595,990	33,897,598
売上原価	29,981,292	30,714,910
売上総利益	3,614,698	3,182,687
販売費及び一般管理費	2,338,860	2,247,517
営業利益	1,275,838	935,169
営業外収益		
受取利息	1,430	1,105
受取配当金	29,234	38,053
助成金収入	54,593	220,511
違約金収入	24,000	-
前受金取崩益	-	48,528
その他	34,293	43,305
営業外収益合計	143,552	351,503
営業外費用		
支払利息	58,266	50,805
その他	3,244	8,413
営業外費用合計	61,511	59,219
経常利益	1,357,878	1,227,454
特別利益		
固定資産売却益	29,654	20,774
投資有価証券売却益	115,370	36,276
事業譲渡益	-	69,000
特別利益合計	145,025	126,051
特別損失		
固定資産売却損	1,109	-
固定資産除却損	1,141	299
減損損失	9,900	36,239
投資有価証券売却損	-	618
投資有価証券評価損	9,939	-
賃貸借契約解約損	4,352	2,584
特別損失合計	26,442	39,742
税金等調整前当期純利益	1,476,461	1,313,763
法人税、住民税及び事業税	611,275	482,116
法人税等調整額	△4,193	58,361
法人税等合計	607,081	540,477
当期純利益	869,379	773,286
非支配株主に帰属する当期純利益	17,051	13,687
親会社株主に帰属する当期純利益	852,328	759,598

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
当期純利益	869,379	773,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,361	47,979
退職給付に係る調整額	△3,742	6,364
その他の包括利益合計	△31,104	54,343
包括利益	838,275	827,629
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	821,181	813,915
非支配株主に係る包括利益	17,093	13,713

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	853,083	9,246,542	△541,555	10,475,069
当期変動額					
剰余金の配当			△150,243		△150,243
親会社株主に帰属する当期純利益			852,328		852,328
自己株式の処分					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		227,297			227,297
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	227,297	702,084	-	929,382
当期末残高	917,000	1,080,381	9,948,627	△541,555	11,404,452

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	7,310	2,446	9,756	-	10,484,826
当期変動額					
剰余金の配当					△150,243
親会社株主に帰属する当期純利益					852,328
自己株式の処分					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					227,297
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,404	△3,742	△31,146	544,795	513,649
当期変動額合計	△27,404	△3,742	△31,146	544,795	1,443,031
当期末残高	△20,093	△1,295	△21,389	544,795	11,927,858

当連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	1,080,381	9,948,627	△541,555	11,404,452
当期変動額					
剰余金の配当			△150,261		△150,261
親会社株主に帰属する当期純利益			759,598		759,598
自己株式の処分		891		1,724	2,616
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	891	609,337	1,724	611,953
当期末残高	917,000	1,081,272	10,557,964	△539,830	12,016,406

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△20,093	△1,295	△21,389	544,795	11,927,858
当期変動額					
剰余金の配当					△150,261
親会社株主に帰属する当期純利益					759,598
自己株式の処分					2,616
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	47,952	6,364	54,316	13,713	68,030
当期変動額合計	47,952	6,364	54,316	13,713	679,984
当期末残高	27,858	5,068	32,926	558,509	12,607,842

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,476,461	1,313,763
減価償却費	628,351	632,339
減損損失	9,900	36,239
のれん償却額	242,121	209,246
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△419	100
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,551	△4,083
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59,980	49,865
受取利息及び受取配当金	△30,665	△39,158
支払利息	58,266	50,805
投資有価証券売却損益(△は益)	△115,370	△35,658
固定資産売却損益(△は益)	△28,545	△20,774
固定資産除却損	1,141	299
事業譲渡益	-	△69,000
賃貸借契約解約損	4,352	2,584
売上債権の増減額(△は増加)	△153,594	△118,465
棚卸資産の増減額(△は増加)	△119,002	△14,218
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,570	△42,639
未払費用の増減額(△は減少)	△60,748	△2,507
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,542	△1,614
その他	△75,472	△60,330
小計	1,890,194	1,886,793
利息及び配当金の受取額	29,662	38,250
利息の支払額	△59,259	△50,144
法人税等の支払額	△725,551	△567,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,135,046	1,307,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△322,758	△312,194
有形固定資産の売却による収入	2,380	20,805
無形固定資産の取得による支出	△14,288	△35,264
投資有価証券の取得による支出	△699,269	△407,716
投資有価証券の売却による収入	750,101	306,886
事業譲渡による収入	-	69,000
長期前払費用の取得による支出	△25,686	△14,487
敷金及び保証金の差入による支出	△22,225	△234,824
敷金及び保証金の回収による収入	21,476	51,072
その他	94,750	79,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215,520	△477,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△570,000	-
長期借入れによる収入	3,700,000	1,450,000
長期借入金の返済による支出	△3,627,398	△3,627,388
非支配株主からの払込みによる収入	755,000	-
リース債務の返済による支出	△42,614	△39,119
配当金の支払額	△150,243	△150,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,743	△2,366,769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	984,268	△1,536,694
現金及び現金同等物の期首残高	6,805,529	7,789,797
現金及び現金同等物の期末残高	7,789,797	6,253,102

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の期首利益剰余金に与える影響はありません。また、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を経営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,731,094	7,813,769	2,819,452	231,673	33,595,990	—	33,595,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	600	1,072,373	1,530	1,074,503	△1,074,503	—
計	22,731,094	7,814,369	3,891,826	233,203	34,670,494	△1,074,503	33,595,990
セグメント利益	1,549,896	218,558	113,755	129,625	2,011,835	△735,997	1,275,838
セグメント資産	7,621,866	10,518,308	1,312,402	1,690,238	21,142,815	7,951,441	29,094,256
その他の項目							
減価償却費(注)3	143,838	396,828	7,848	39,957	588,474	39,877	628,351
減損損失	5,927	3,973	—	—	9,900	—	9,900
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注)3	175,602	32,549	8,211	—	216,363	153,485	369,848

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△735,997千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,433,888千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額7,951,441千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,721,540千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	23,094,707	7,671,388	2,944,318	187,182	33,897,598	—	33,897,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	600	997,937	1,866	1,000,403	△1,000,403	—
計	23,094,707	7,671,988	3,942,255	189,049	34,898,001	11,000,403	33,897,598
セグメント利益	1,490,609	△28,636	57,373	124,606	1,643,953	△708,783	935,169
セグメント資産	7,826,418	9,465,465	1,293,004	1,622,555	20,207,454	7,298,332	27,505,776
その他の項目							
減価償却費(注) 3	159,787	388,788	12,260	37,438	598,274	34,064	632,339
減損損失	5,677	—	30,562	—	36,239	—	36,239
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	213,831	66,795	—	5,654	286,281	25,769	312,050

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△708,783千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,443,492千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額7,298,332千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,044,457千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	141,336	98,448	2,335	—	—	242,121
当期末残高	620,514	882,809	32,898	—	—	1,536,222

当連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	108,879	98,030	2,335	—	—	209,246
当期末残高	511,634	784,779	—	—	—	1,296,414

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)		当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	
1株当たり純資産額	3,030円61銭	1株当たり純資産額	3,207円14銭
1株当たり当期純利益金額	226円92銭	1株当たり当期純利益金額	202円20銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当連結会計年度 (2023年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	11,927,858	12,607,842
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	544,795	558,509
(うち非支配株主持分(千円))	(544,795)	(558,509)
普通株式に係る純資産額(千円)	11,383,062	12,049,333
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,756,027	3,757,027

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	当連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	852,328	759,598
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	852,328	759,598
普通株式の期中平均株式数(株)	3,756,060	3,756,643

4. その他

(1) 役員の変動

① 退任予定取締役

取締役 服部 清

取締役 安達 佳之

② 新任取締役候補者

取締役 桑原 茂弘 (現 アフラック生命保険株式会社 取締役副会長)

③ 異動予定日

2023年5月24日

(2) その他

該当事項はありません。